



出建第25号
平成19年5月8日

国土交通省道路局長

出水市長 渋谷俊彦



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について（回答）

平成19年4月2日付け国道企第114号で依頼のありました標記の件について、
別添のとおり回答いたします。

連絡先

建設政策室 担当 青崎

電話 0996-63-2111(364)

重点化を進める上で特に優先度の高い政策

出水市は、平成18年3月13日、旧出水市、高尾野町、野田町の1市2町が合併して誕生いたしました。

本市における重点化を進める上で特に優先度の高い政策としましては、南九州西回り自動車道、鹿児島空港へのアクセス道路となる北薩横断道路等の高速交通網の整備、高速交通網へのアクセスの強化、合併市町における各地域生活拠点間を結ぶ道路の整備などの道路の新設整備に加え、既存の道路の維持・管理・更新も重要な政策と考えております。

また、道路利用者のニーズの多様化に伴い、既存道路の歩車共存道路への更新、環境や景観に配慮した道路整備についても重要な政策であると考えます。

効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

道路の整備において、効率化を徹底的に進める上で重視すべきこととして、住民との合意形成、優先度の高い政策への重点的な予算配分、用地取得の促進などが考えられます。住民との合意形成については、その後の用地取得の重要な足がかりとなることから、施策の立案や事業の計画・実施の過程で住民から幅広く意見を伺い道路整備に反映させる必要があると考えます。また、予算配分についても住民との合意形成が得られた事業から重点的な予算配分による早期着手・早期完成を行うことが必要であると考えます。

道路の管理において、効率化を徹底的に進める上で重視すべきこととして、既存の道路に適切な時期にメンテナンスを行い、ライフサイクルコストを抑制することを目的とした道路資本の管理の中期的な計画の策定が必要と考えます。

その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

○地方道路整備の拡充について

都市部等の交通量だけの重点整備ではなく、地方部、中山間地域の道路ネットワーク整備を図りたいと考えております。少子高齢化が極端に進む地方部において、人口流出が進み、耕作放棄地も広がる中、農林水産省においては中山間地域に対する支援を推進しております。そこで、中山間地域へのアクセス道路として、国土保全の観点からの地方道路整備の拡充が必要ではないかと考えます。

○道路特定財源の一般財源化について

「道路特定財源の見直しに関する具体策」にある、「毎年度の予算において、道路歳出を上回る税収は一般財源とする。」ということについては、一般財源とすることなく、優先度の高い事業や事業効果の高い事業へ再配分を行うことで早期完成を目指す。あるいは、地方への配分割合を高める等、本来道路特定財源制度が持つ、受益者負担の原則に基づいた運用をしていただきたいと思います。